

第10回

仏教文化振興シリーズ  
vol.X

記念講演

■日時

2006年

12月10日(日)

午後1時～4時30分(開場／午後12時30分)

■会場

西本願寺  
名古屋別院

中区門前町

記念講演並びに  
パネルディスカッション  
「仏伝—アジアの仏教文化交流」

# 菩提樹 チャリティ公演

アジアの子どもたちに学校を贈る

コンサート

■日時

2006年

12月11日(月)

午後6時～8時(開場／午後5時30分)

■会場

愛知県芸術劇場  
コンサートホール

韓国佛教合唱団  
訪日

チャリティ  
コンサート

Charity Concert  
& Lecture

主催：仏教文化振興協会

■後援：愛知県仏教会、名古屋市仏教会、曹洞宗愛知県第一宗務所、天台宗東海教区、同朋学園、中日新聞社

■連絡先：仏教文化振興協会 TEL052-303-8316

# アジアの子どもたちに学校を贈る 第10回 菩提樹チャリティーコンサート

## プログラム

### 記念講演 並びにパネルディスカッション

日時：平成18年12月10日（日）午後1時～4時30分 会場：西本願寺名古屋別院  
「仏伝—アジアの仏教文化交流」

・講 師 宇治平等院 住職 神居 文彰 師

・パネリスト 南山大学教授 安田 文吉 エッセイスト 高田 都耶子

SVA愛知代表 神野 哲州 本宗寺 住職 都路 照信

建中寺 住職 村上 真瑞 延命寺 住職 村上 圓竜

司 会 渡辺 信和

佛教音楽響流・交流 出演者 韓国佛教合唱団、東海佛教音楽のつどい

### コンサート

日時：平成18年12月11日（月） 午後6時～午後8時 会場：愛知県芸術劇場コンサートホール

■オープニング 読 経……曹洞宗青年会有志

能 管……藤田 六郎兵衛

#### ■第一部「祈り」

・讃仏歌より 「礼讚無量寿」 「正信偈」より 清水 脩 曲

「たとひ大千世界に」 「浄土和讚」より 清水 脩 曲

指 挥…神田 豊壽

男 声…グランフォニック

・韓国讃仏歌より 「三 帰」「成道祭のうた」「普賢行願」

指 挥…李 相善

ピアノ…林 相希 女声…韓国佛教合唱団

・日本の讃仏歌

「三帰依」 仏典より

「四弘誓願」 仏典より 小松 清 曲

「成道のうた」 詩 藤井 清水 曲

指 挥…谷 鈴代

ピアノ…藤原 一子

サーラ・フラウエンアンサンブル

ソプラノ…東 朝子、女声…菩提樹の会、朝日女声コーラス

・日韓合同曲

「われらの縁」 前田 美子 日本語詩・李 相善 曲

「み佛さまに帰依します」 安 貞順 日本語詩・趙鏞克 詩・卞圭百 曲

指 挥…李 相善

ピアノ…林 相希

サーラ・フラウエンアンサンブル

女声…韓国佛教合唱団、菩提樹の会、朝日女声コーラス

～ 休憩 ～



## ■第二部 「成道」仏音響流

- ・語り 語り…舟木 淳
- ・舞 楽 「陵王」 舞人…荒山 淳
- ・能 管 能管…藤田六郎兵衛
- ・独 唱 「心の合掌」 九條 武子 詩・白鳥 芳郎 曲  
「一枚起請文」 法然上人 御作・小川 隆宏 曲  
独唱…澤脇 達晴  
ピアノ…藤原一子
- ・独 唱 「ほとけはつねに」 梁塵秘抄より・伊藤 完夫 曲  
「ヤソダラが雪山ブッダに送る手紙」 小塙 憲二 編曲  
独唱…松波 千津子  
ピアノ…藤原一子  
サーラ・フラウエンアンサンブル
- ・合 唱 「韓国の讃仏歌」  
指揮…李 相善  
女声…韓国佛教合唱団  
ピアノ…林 相希
- ・合 唱 「日韓の讃仏歌メドレー」 小塙 憲二 編曲  
指揮…谷 鈴代  
ピアノ…藤原一子  
サーラ・フラウエンアンサンブル  
児声…名古屋少年少女合唱団
- ・あいさつ
- ・全員合唱 「のんのさま」 東村 美穂 詩・中村 八大 曲・小塙 憲二 編曲  
指揮…谷 鈴代  
ピアノ…藤原一子  
サーラ・フラウエンアンサンブル

美術 伊藤三郎  
照明 杉本典隆 企画 前田美子  
音響 田牧浩 企画補 松永菜穂枝  
舞台監督 稲垣清行 制作 仏教文化振興協会



## 第一部

男声合唱2曲は、戦後の仏教音楽会を担った一人、作曲家清水脩の作品である。浄土真宗宗祖親鸞聖人著作「正信偈」「和讃」に作曲された、男声アカペラは、魅了してやまない響きがある。

韓国の「三帰依」「成道祭のうた」「普賢行願」は、法要の祈りのうたである。日本の「三帰依」「四弘誓願」「成道のうた」と聴き比べてみると、仏教音楽にも如実に、両国の音楽の特色が感じ取れるのである。

女声合同曲「われらの縁」は、当協会菩提樹の会が、2005年韓国仏教合唱団と交流した折、指揮者李相善女史が、感動を曲に残したものである。同女史のハングル語を日訳詩してみると、仏縁の不思議さを感じじみと感じ、國やことばが違っても、共に仏道を歩かせていただく友として、心が通い合うことを実感する。

「み佛さまに帰依します」は、その躍动感溢れ、仏前にいざなわれる喜びに包まれる。日韓両国語でうたわれる。

## 第二部

「心の合掌」は、小塚憲二編曲により、バリトンソロで歌われる。

九條武子の深い仏への祈りに、白鳥芳郎作曲による仏教音楽作品の秀逸である。

「一枚起請文」は、浄土宗開祖法然上人のご遺訓である。第二祖勢觀房源智上人大遠忌（昭和62年4月）に際し、作曲家小川隆宏により曲をつけ初演された。

「ほとけはつねに」（伊藤完夫 曲）

「ヤソダラが靈山のブッダに送る手紙」は、韓国の（パンソリ）を彷彿とさせる作品で、雪深い山奥で苦行する釈尊（ブッダ）に、手紙を送る妻ヤソダラの気持ちを、切々とメロディがつなぐ。名古屋を代表するプリマ、松波千津子の、果敢なハングル語の歌への姿勢と相まって、韓国の歌手かと思わせられる。曲も心を傾けるほどに、音が自然にいざなう仏教的空間に感動する作品である。

韓国の讃仏歌「私の心のみほとけさま」「摩訶般若波羅密多心経」「青山はわれをみて」は、韓国仏教音楽の、それぞれに特色ある作品である。「般若心経」のリズム感、多勢で経典を唱える臨場感に満ちている。

「青山～」は、自然と共に生きる、生活の営みに焦点をあて、小作品ではあるが、韓国仏教合唱団のポピュラーな作品の一つである。

「日韓こどものうたメドレー」は、「成道のうた」（日）「ソックラムのほとけさま」（韓）「ほとけさまは」（日）「蓮の花はどこで咲くのだろう」（韓）「ふるさとの春」（韓）「春あなたに」（日）以上6曲を、小塚憲二の編曲により、児童合唱作品として、新しく生まれかわっていることに気づかされる。

ソックラムとは、韓国慶州の石窟庵のほとけさまを指す。「蓮の花はどこで咲くのだろう」は、どこでも咲き、汚れた泥であっても、仏心があるからこそ、清らかに咲く、と表現する。また「ふるさとの春」は、日本の「ふるさと」同様、国民的歌といってよい作品である。

全員合唱「のんのさま」は、“地球の子どもの子守歌”的サブタイトルが付く。昭和58年TBSラジオの作詩公募、作曲は中村八大である。「のんのさま」とは、「ほとけさま」のことである。この歌のように、地球上の子どもたちの平和な未来のために、今できる限りの努力を、私たちは惜しむべきではないと、この曲からも教えられるのである。



# プロフィール

## 児童合唱 名古屋少年少女合唱団

1966年創立。オーケストラとの共演、オペラ出演のほか、国際交流を目的としたコンサートなどにも出演。1997年スイス・ヌーシャテル国際合唱フェスティバル(児童合唱部門1位受賞)、2003年ラトビア・リガ・国際児童少女合唱フェスティバル参加。2005年名ファイル定期演奏会『響紋』に出演するほか、愛・地球博では、開会式・閉会式、オーストラリアナショナルデー・コンサートなどに出演。「世界合唱の祭典京都～ジュニア・コーラス・フェスティバル」に参加。団員は、小学2年から大学1年生までの130名。創立40周年演奏会を8月13日(愛知県芸術劇場コンサートホール)に公演。

## 女声合唱 朝日女声コーラス

主婦のコーラスが、まだほとんどなかった1952年、岩佐先生の指導で朝日女性サークル音楽グループとして発足。  
1961 NHK-TV「音楽をどうぞ」で立川澄人氏と共に演じた。  
1975 谷鈴代先生指導。東海主婦のコーラス発表会ほかに参加。  
1991 藤田学園合唱コンクールでゴールドフジタ賞受賞  
1996 同 特別フジタ賞受賞  
2002 創立50周年記念演奏会(電気文化会館)  
2003 男女平等参画推進センター開館記念事業でワークショップ  
2004 犬山市民合唱団とジョイントコンサート  
明治村トリエンナーレ'04参加(聖ザビエル天主堂)  
2006 名古屋・東京ハルモニーセレリスト演奏会に出演

## 仏教文化振興協会 菩提樹の会 ほだいじゅのかい

仏教文化振興協会附属合唱団として、今年4月、正式発足。現在、約60名の会員とセクトを超えた宗派団体からなる。仏教音楽を中心に、本公演はもちろん、海外交流演奏等の活動にも視点がおかれる。  
平成17年10月 韓国佛教合唱団と交流。  
平成18年10月 両国スタッフ交流会・演奏会打合せ。  
指導、谷鈴代。  
会長、川北多美子。

問い合わせ: 仏教文化振興協会 事務局 052-303-8316

## ソプラノ 東 朝子 ひがし あさこ

金沢大学教育学部卒業。同教育専攻科修了。声楽を真田宗計氏、関定子氏に、日本歌曲を塙田佳男氏に師事。仏教讃歌との出会いは、1994年、義兄の住職常福寺合唱団の指導を始めたとき。キリスト教の贊美歌に負けるとも劣らない、その美しさに感動して、平成18年、病気療養を契機にCDを自費出版。「日本を代表する音楽家がつくったほとけさまのうた」(常福寺「東朝子と歌う会」)

## 男声合唱 グランフォニック

1994年5月、名古屋市でコンサートが行われた。主催は東海クローバークラブ(同志社グリークラブの東海地区のOB会)であり、そこに慶應義塾ワグネルソサイエティー男声合唱団、関西学院グリークラブ、早稲田大学グリークラブの東海地区在住のOBが加わり、グランフォニックの前身である「東西四大学OB合唱団東海」が産声を上げた。

その後2000年10月に「グランフォニック」と改称、四大学以外のメンバーも加わり、現在は50余名の団員で、週一回の定期練習と月一回の強化練習を行っている。

わが団は、「グランフォニック商事」というバーチャルカンパニーの形態で経営されている。経営理念は「歌を通じて生きる喜びを感じ、伝えること」であり、経営方針として、「より高度な水準の男声合唱を目指す」、「創作・編曲に限らずオリジナル作品を必ず発表する」、「ドイツ語の曲をきちんと歌う」を掲げている。

## 東海仏教音楽の集い

とうかいぶつきょうおんがくのつどい

仏教音楽を中心、東海地域の約11団体の集いが、西本願寺名古屋別院を拠点に活動。  
平成17年 結成記念大会。  
平成18年 第2回東海仏教音楽の集い。  
第10回菩提樹公演には、12月10日西別院会場の講演会で、50余名の会員で、韓国佛教合唱団と共に、讃仏歌を披露。  
平成19年7月には、第3回東海仏教音楽の集いを開催予定。  
会長、藤井龍子。

